

News Release

2019年 6月27日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

エアコン・扇風機の事故にご注意ください ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方のエアコン・扇風機による事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2013年度から2017年度までの5年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したエアコン^{※2}及び扇風機^{※3}による事故は計139件あり、うち「火災」となった事故は118件ありました。エアコン及び扇風機による事故について、関東甲信越地方の製品別、月別事故発生件数を図1、都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。エアコン及び扇風機の事故の発生件数は全国の傾向と同様に6月から8月にかけて事故が増加しています。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 ルームエアコン（室外機、室内機）に加え、コンプレッサーを使用する冷温風機も含む。

※3 ファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。

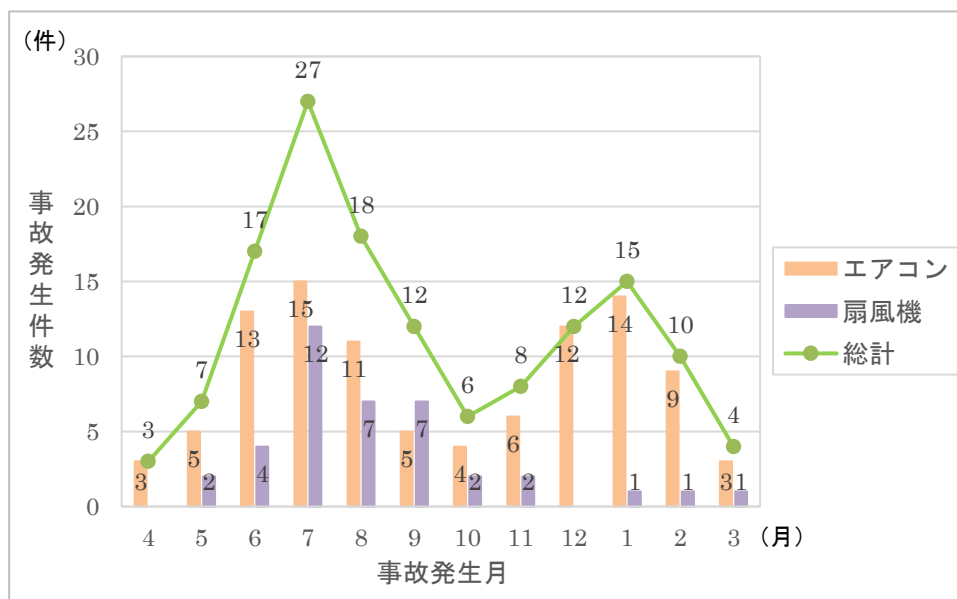


図1. 製品別 月別 事故発生件数(関東甲信越地方)

表 1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2013年度		1	3	4	3	12		1	2	1	27
	(内数)火災事故		(1)	(2)	(3)	(3)	(9)			(1)		(19)
	2014年度	1	1	4	10	1	10	1				28
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(4)	(9)	(1)	(9)	(1)				(26)
	2015年度	1	1	7	2	6	17			2		36
	(内数)火災事故	(1)		(7)	(2)	(5)	(12)			(1)		(28)
	2016年度		2	6	4	5	6			1	1	25
	(内数)火災事故		(2)	(6)	(4)	(5)	(6)			(1)	(1)	(25)
2017年度	1	2	3	6	2	5	2	1	1		23	
(内数)火災事故	(1)	(2)	(2)	(5)	(1)	(5)	(2)	(1)	(1)		(20)	
合計	3	7	23	26	17	50	3	2	6	2	139	
(内数)火災事故	(3)	(6)	(21)	(23)	(15)	(41)	(3)	(1)	(4)	(1)	(118)	

表 2. 被害状況別事故発生件数※4

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡										0	
		(内数)火災事故											(0)
		重傷					1	1					2
		(内数)火災事故											(0)
		軽傷				2	1	5		1	1	1	11
	(内数)火災事故				(2)		(4)			(1)		(7)	
	物的被害	拡大被害	2	4	18	15	9	21	2		2	1	74
		(内数)火災事故	(2)	(4)	(17)	(15)	(9)	(20)	(2)		(2)	(1)	(72)
		製品破損	1	3	5	9	6	22	1	1	3		51
		(内数)火災事故	(1)	(2)	(4)	(6)	(6)	(17)	(1)	(1)	(1)		(39)
被害なし						1					1		
(内数)火災事故											(0)		
合計	3	7	23	26	17	50	3	2	6	2	139		
(内数)火災事故	(3)	(6)	(21)	(23)	(15)	(41)	(3)	(1)	(4)	(1)	(118)		

※4 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	総計	
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	4	2	3	8		1		19	
		(内数)火災事故		(1)	(4)	(2)	(2)	(5)				(14)	
	B	製品および使い方に問題があったもの		1	1	2	1	2				7	
		(内数)火災事故		(1)	(1)	(2)	(1)	(2)				(7)	
	C	経年劣化によるもの			2	1		5	1		1	1	11
		(内数)火災事故			(2)	(1)		(5)	(1)		(1)	(1)	(11)
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの		2	5	5	4	7			1		24
	(内数)火災事故		(2)	(4)	(4)	(4)	(7)					(21)	
	小計	0	4	12	10	8	22	1	1	2	1	61	
	(内数)火災事故	(0)	(4)	(11)	(9)	(7)	(19)	(1)	(0)	(1)	(1)	(53)	
製品に起因しない事故	D	施工、修理又は輸送などに問題があったもの			2	2	1	5				10	
		(内数)火災事故			(2)	(2)	(1)	(4)				(9)	
	E	誤使用や不注意によるもの		1	2	1					1	5	
		(内数)火災事故		(1)	(2)	(1)						(4)	
	F	その他製品に起因しないもの	1	1		3	2	5	1				13
	(内数)火災事故	(1)			(3)	(2)	(5)	(1)				(12)	
	小計	1	2	4	6	3	10	1	0	0	1	28	
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(4)	(6)	(3)	(9)	(1)	(0)	(0)	(0)	(25)	
その他	G	原因不明のもの(G3は除く)	2		7	7	5	15	1		3	40	
		(内数)火災事故	(2)		(6)	(5)	(5)	(10)	(1)		(2)	(31)	
	H	調査中のもの		1		3	1	3		1	1	10	
		(内数)火災事故		(1)		(3)		(3)		(1)	(1)	(9)	
	小計	2	1	7	10	6	18	1	1	4	0	50	
	(内数)火災事故	(2)	(1)	(6)	(8)	(5)	(13)	(1)	(1)	(3)	(0)	(40)	
	合計	3	7	23	26	17	50	3	2	6	2	139	
	(内数)火災事故	(3)	(6)	(21)	(23)	(15)	(41)	(3)	(1)	(4)	(1)	(118)	

製品に起因する事故（A、B、C及びG3区分）の未然防止については、特にリコール対象製品による事故も発生していますので、お使いの製品が、社告・リコールの対象となっていないかご確認ください。

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① リコール対象製品による事故

- ・ 2017年10月、東京都、拡大被害

(事故内容)

事務所でエアコンを使用中、エアコン室内機及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

エアコンのファンモーターの製造工程上の不具合により、ファンモーターに内蔵された電子部品（チップコンデンサー）がショートし、過大電流が電気回路に流れたことでファンモーターが発熱・発火し、出火に至ったものと推定される。

なお、製造事業者は2014年10月17日よりリコールに基づく製品の点検・修理を実施している。

② 配線の途中接続による事故

- ・ 2017年12月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

使用中のエアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

(事故原因)

施工業者がエアコンの室内機と室外機を接続する配線を差し込みコネクタにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。

なお、据付説明書には、「配線を途中接続しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

③ 長期使用の扇風機による事故

- ・ 2016年6月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

扇風機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。。

(事故原因)

扇風機は、長期使用（約15年）により、モーター用コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡したため出火に至ったものと推定される。

2. エアコン・扇風機による事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① エアコン「ねじり接続で発火」(2. (2) 写真1)
- ② 扇風機「内部配線の劣化により発火」(2. (2) 写真2)

(そのほか)

・エアコン

- ③ 電源コードの継ぎ足し接続で発火
- ④ 途中接続で発火
- ⑤ 内部に洗浄液がかかりトラッキング現象で発火
- ⑥ 害虫が侵入し、内部ショート
- ⑦ 外火による室外機の燃焼

・扇風機

- ⑧ コンデンサーの発火
- ⑨ 内部部品の発火1
- ⑩ 内部部品の発火2
- ⑪ 就寝中に発火

(2) 実験映像例

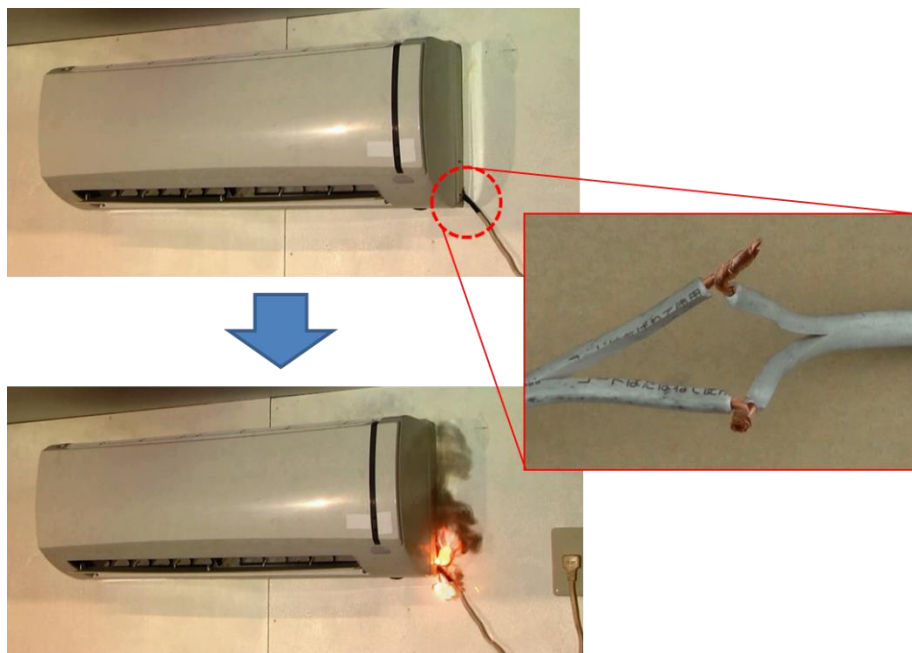


写真1. エアコンの電源コードねじり接続による発火

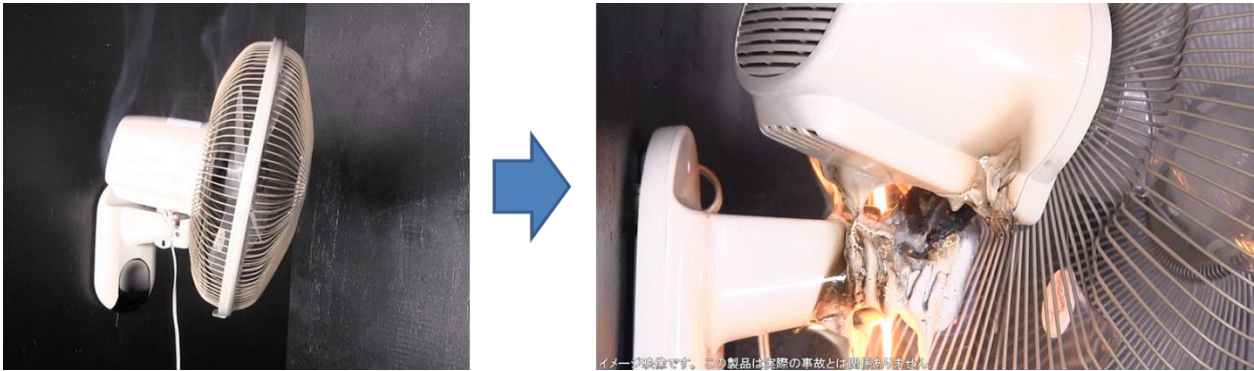


写真 2. 扇風機の内部配線の劣化により発火

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと）、有山（ありやま）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820